



創立149年

石積っ子

教育目標 さいごまでやりぬく子 からだをきたえる子 もとめて学び子 とを大切にする子

坂本小だより 令和5年 10月号

児童数589名 (24クラス)

坂本小HP <http://www.otsu.ed.jp/skmt/>

【校長 上畠 憲一】

「仲間」 ～2学期は「自分大好き 友だち大好き さかもと大好き」～

『18年ぶりのアレと大切な仲間たち』

2学期の始業式で子どもたちに話したことのひとつが、『坂本小五つの心得』の五番目、「人(友)を大切に
する心を持ち続けましょう。」というものでした。2学期には、運動会や校外学習、修学旅行等の行事をはじ
め、友達と一緒に協力し合ってよりよいものをつくり出す活動がいろいろ計画されています。どれも子どもた
ちの成長にとってどれも大きな意味を持つ活動です。もちろん、日々の授業でも仲間と一緒に交流しながら考
えを深めていきます。それらの行事や活動、普段の授業を通して、互いに友だちの良さに気づき、そこに目を
向け仲間を大切にしてくれることを願っています。



さて、そんな2学期がスタートして間もない9月14日に、阪神タイガースが
18年ぶりにアレを達成しました。大阪の街はえらい盛り上がりだったようで、市
が道頓堀川の水位を上げてアレの際の飛び込みに備えていたといいますが半端
ない状況と察します。私自身はそれほどまでにプロ野球を観戦する方ではないの
で岡田監督の手腕については感心させられ話題にこそしますが、大阪の盛り上が
りにはほど遠い人間です。それでも、「背番号24」の記事は目にとまり、選手達
のたった行動に温かい気持ちにさせてもらいました。左の写真(読売新聞掲載)は、
胸上げ投手となった岩崎優投手が、今年7月に若くして亡くなられた横田慎太郎
さんが現役時代に着ていたユニフォームと一緒に胸上げされているものです。

志し半ばで引退することになってしまった仲間を同士として思い続け、共に喜
びを分かち合おうとしている選手達の姿にチームと
いう仲間集団に欠かせない大切な心持ちの存在を重
ねました。

このことは子どもたちの学校生活も同様です。子
どもたちは、学級や学年、登校班、たてわり、クラブ活動、委員会活動…、多
くの場面で仲間と一緒に過ごしています。どんな場であれ、子どもたちが意気投合
し合い、居心地の良さと所属感を得られることが集団にとって必要不可欠
です。今さらですが「友だち大好き」を合言葉に、仲間を大切に、仲間
から大切にされるそんな集団であってほしいと願います。

因みに、教室の様子を撮った右の2枚の写真は、欠席している子や交流
の子たちの空いた机も一緒に寄せ合わせてグループで話し合い学習をして
いる場面です。横田選手の写真同様、たとえその場にいなくてもいつでも
一緒に仲間だという温かい気持ちを感じます。うれしくなりました。



創立150周年企画第2弾! (PTA企画)

～『夜の坂本小学校 恐怖の肝試し』～ 申込み締め切り間近!!

150周年を機に、学校とPTA、地域がともに子どもを育てる思いを深め、共有した
い。その記念事業第2弾として、PTAの役員さんを中心に計画されている『学校肝試
し』。坂本小学校に通う全ての子どもたちの思い出づくりと笑顔(恐怖に引きつる笑顔?)
を願う一心で、自分やご家族のための時間を削ってまで準備いただいている様子を見て
頭の下がる思いです。心から感謝し、協力を惜しまないようにしようと思っています。

既に多くの申込みが届いていますが、いよいよ申込みの締め切りが10月2日(月)に
迫っています。お子さんが参加できそうなら遅れないよう申し込んであげてください。

